

「世界劇場会議  
国際フォーラム2011」

実行委員長 山田 純

劇場には夢があり人々はそれを追い続けます。劇場には活力があり人々はそこで英気を養います。また劇場には魔力が潜み人々を引きつけてやみません。今年のフォーラムは、「すべての人々に喜びを与える劇場」をキーワードとして、「その役割と進む道」を探ってみようと考えました。フォーラムに来て頂いた劇場に関わるすべての人々が、劇場の夢を語り合い、活力を感じ、その魔力に浸って頂ければと思います。

## 参加申し込み要項

### ■参加費

◇基本登録料（論文報告集含む）

一般	5,000円
ITCN会員	4,500円
◇学生2日券（論文報告集含む）	3,000円
◇学生1日券（論文報告集を含まない）	1,000円
◇レセプション参加費	5,000円

※理由の如何を問わず、お支払いの参加費は返却できませんのでご了承ください。

※論文報告集のみの購入 3,000円

### ■参加登録締切

△2011年1月25日(火)

※当日の登録もお受けいたします。ただし登録者数多数の場合はお断りすることがあります。

### ■参加登録証・レセプション参加券と領収証の発行

△参加費の入金確認後、事務局より参加登録番号をe-mailまたはFAXにてご連絡いたします。登録番号は当日の参加登録証との引き換えに必要となりますので印刷するかメモして大切に保管してください。

※2011年2月1日(火)までに上記書類が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

### ■申し込み方法

△同封の参加申込用紙に必要事項を全てご記入の上、郵便・FAXにて事務局までご送付ください。

△用紙が不足の場合はコピーしてお使いください。

### ■参加費のお支払いについて

△下記銀行口座に必要金額をお早めにご入金ください。

△参加登録申込書と振替用紙の氏名（団体名）は必ず同一で記入してください。

△申込書1枚につき、振替用紙1枚をご使用ください。

△振込先

三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部 普通 0288484

世界劇場会議国際フォーラム2011 実行委員会

実行委員長 山田 純

事務局「世界劇場会議 国際フォーラム2011」実行委員会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-12

グランビル2B

特定非営利活動法人世界劇場会議名古屋内

TEL&FAX 052-232-2271

E-mail f11@itc-nagoya.com

HP http://www.itc-nagoya.com

## 実行委員会

### 大会委員長

藤井知昭

[愛知芸術文化協会理事長/総合研究大学院大学名誉教授]

### 顧問

[愛知芸術文化センター総長]

[財]愛知県文化振興事業団理事長]

[財]名古屋市文化振興事業団理事長]

[演出家]

[プロデューサー/株)テレビシティ代表取締役]

[名古屋大学大学院環境学研究科教授]

### 実行委員長

山田 純

[名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科教授]

### 副実行委員長

衛 紀生

[可児市文化創造センター館長兼劇場監督]

川本直義

[株)エルイー創造研究所取締役/株)伊藤建築設計事務所理事]

### 実行委員

秋里ゆきよ

[日本フラメンコ協会正会員/日本ダンスセラピー協会正会員]

秋田 敏

[財]愛知県文化振興事業団事業課長]

稻垣伸夫

[愛知芸術文化センター管理部施設課長]

岩室秀典

[三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員]

片山一宮

[ヤマハサウンドシステム株)名古屋営業所長]

門原 頌

[NPO法人世界劇場会議名古屋理事]

熊崎雅芳

[モーツアルト200メモリアル主宰]

畔柳千尋

[養寿寺文化・広報部]

小西邦夫

[株)三光代表取締役社長]

佐久間広一郎[株)OFFICE516代表取締役]

櫻場敬信 [NPO法人武豊文化創造協会理事長]

下斗米隆 [NPO法人世界劇場会議名古屋理事/株)エフ・ジー・ジー代表取締役]

高木正博 [NPO法人武豊文化創造協会]

高橋健二郎 [三精輸送機株)名古屋営業所所長]

竹内洋江 [NPO法人名古屋おやこセンター理事長]

竹本義明 [名古屋芸術大学学長／武豊町民会館館長]

友宗篤彦 [財]名古屋市文化振興事業団文化振興部長]

西澤康夫 [平成医療短期大学教授]

藤井 克 [長円寺会館/グリーン・エコー]

二村利之 [七ツ寺共同スタジオ代表]

細井昭男 [株)都市造形研究所]

水野誠子 [劇団きまぐれ代表]

宮田 健 [財]名古屋市文化振興事業団文化振興部主幹]

松山勝人 [長久手町文化の家事業係長]

森下勝史 [株)シーエスエス総合舞台]

山内 均 [愛知県文化情報センター所長]

山口清司 [株)若尾綜合舞台取締役]

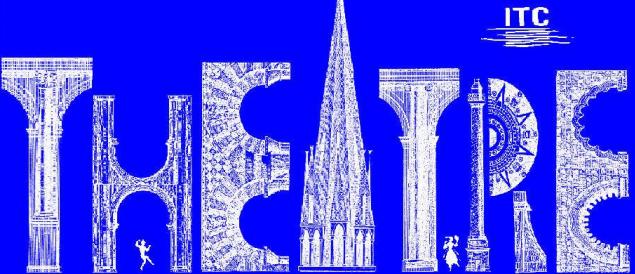
山口 澄 [株)松村電機製作所中部支店支店長]

山出文男 [株)シーエスエス総合舞台常務取締役]

渡邊孝晴 [株)ヤマハミュージック東海名古屋店店長]

事務局長 細井昭男

事務局次長 竹内洋江



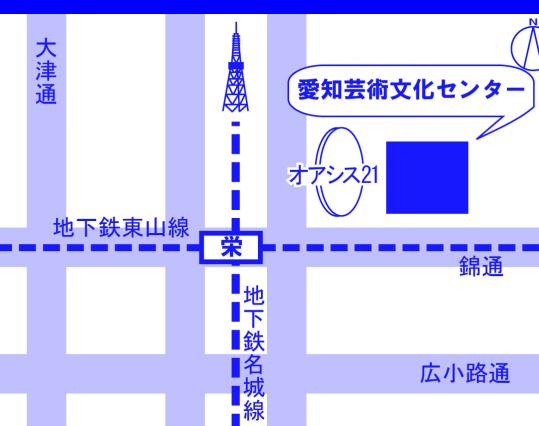
# 世界劇場会議 国際フォーラム2011

## International Theatre Conference Forum 2011

### 劇場の役割と進む道

～すべての人々に喜びを！～

2011年2月11日(金・祝)～12日(土)  
愛知芸術文化センター  
12階アートスペース



■アクセス：名古屋市東区東桜一丁目13番12号  
TEL(052)971-5511(代表)  
名古屋駅から地下鉄東山線「栄駅」下車徒歩2分

- 主催：「世界劇場会議国際フォーラム2011」実行委員会
- 主催構成団体：愛知県/名古屋市/(財)愛知県文化振興事業団/(財)名古屋市文化振興事業団/NPO法人世界劇場会議名古屋
- 後援：文化庁/(財)地域創造/(社)日本芸能実演家団体協議会/(社)企業メセナ協議会/(社)全国公立文化施設協会/(公社)劇場演出空間技術協会/文化経済学会<日本>/日本NPO学会/日本アートマネジメント学会/日本音楽芸術マネジメント学会/日本文化政策学会/(財)舞台芸術財団演劇人会議/愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/愛知芸術文化協会/名古屋ホール運営協議会/愛知県舞台運営事業協同組合/(社)日本建築家協会東海支部/NPO法人名古屋おやこセンター/東海吹奏楽連盟/東海北陸市民バンド協議会
- 協力：愛知県/愛知県舞台運営事業協同組合/株)伊藤建築設計事務所/ウシオライティング株/株)エルイー創造研究所/カヤバシステムマニアリー株/喜喜怪会/株)コトブキ/株)三光/三精輸送機株/株)シーエスエス総合舞台/大成建設株/中部日本放送株/東海テレビ放送株/株)東畠建築事務所/株)都市造形研究所/パナソニック電工株/株)松村電機製作所/丸茂電機株/森平舞台機構株/ヤマハサウンドシステム株/株)若尾綜合舞台
- 印刷：㈱友人社



# 世界劇場会議 国際フォーラム2011

## International Theatre Conference Forum 2011

開会式 2月11日(金)13:00

愛知芸術文化センター 12F アートスペースA

基調講演 「日本の文化政策はどうあるべきか！」 2月11日(金)13:30～15:00

12F アートスペースA

理想と現実の間で、効果のある政策実現への道筋を探る

かつて「鉄は国家なり」と言われた。鉄を確保することが国家戦略的にも重要な位置付けにあった頃の言葉である。そして今や鉄に代わり「文化」こそが日本の発展を支える重要な柱であると認識されるようになつた。文科省の文化政策部会において委員を務めてきた田村孝子氏が、理想の「文化国家」を目指すために何が必要であるかを熱く語る。

Session-1：文化政策と公共建築 2月11日(金)15:15～18:00

12F アートスペースA

日本では文化支援を語る時に「ヨーロッパ型かアメリカ型か」という二者択一の論理を用いることが多い。国家による中央集権か、寄付税制に軸足を置く民間支援か、日本の文化政策はいずれを参考とすべきだろうか。片や後藤和子氏は、北欧の文化政策が日本にとって示唆的である、という提言をされている。これまでほとんど馴染みがなく紹介されるこのなかった北欧の文化政策は日本にとって「第3の選択肢」となりうるのか。「北欧では建築は文化政策そのものである」と語る後藤氏に建築関係者や劇場関係者を交えて、国際比較の中から日本の公共政策における文化支援のあり方について議論を深めていく。

### [基調講演]

講師

後藤和子 埼玉大学大学院経済科学研究科教授

### [パネルディスカッション]

講師

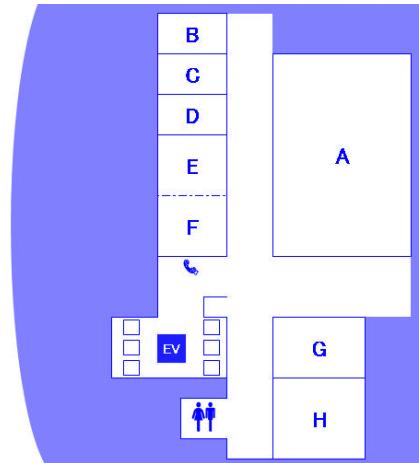
田村孝子 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」館長  
後藤和子 埼玉大学大学院経済科学研究科教授  
小野田泰明 東北大学大学院教授

コーディネーター

徳永高志 NPO法人クオリティアンドコミュニケーションオブアツ

### セッション案内

#### 愛知芸術文化センター12階フロア案内図



※左側のフロア案内図と併せてご確認ください。			
日 程	時 間	プロ グラム	会 場
2月11日(金)	13:30～15:00	基調講演	アートスペースA
	15:15～18:00	Session-1	アートスペースA
	19:00～20:30	レセプション	名古屋国際ホテル
2月12日(土)	10:00～15:45	Session-2	アートスペースA
	Session-3	アートスペースG	
	Session-4	アートスペースH	
	16:00～17:00	特別講演	アートスペースA
	17:10～18:00	総括セッション	アートスペースA
2月11～12日開催時間中			情報交流サロン
			アートスペースE・F

#### 情報交流サロン：11～12日

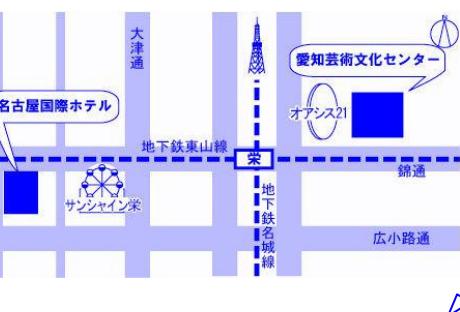
11日12:30～18:30  
12日 9:30～17:00 12F アートスペース E & F

全国の劇場・芸術団体の交流の場としてお気軽に立ち寄りください。関連書籍の販売やチラシ・パンフレット等を展示しています。

熱い熱い議論の合い間に  
一杯のコーヒーと新しい出会いはいかがですか？

#### レセプション：11日19:00～20:30

フォーラムに参加された皆さんが、「劇場」をキーワードに様々な意見や情報を交換する場として多くの参加をお待ちしております。  
会場：名古屋国際ホテル  
2階宴会場  
名古屋市中区錦3-23-3  
TEL 052-961-3111  
愛知芸術文化センターより徒歩5分



# 劇場の役割と進む道

～すべての人々に喜びを！～

Session-2：劇場法への提言 2月12日(土)10:00～15:45

12F アートスペースA

地域の声、現場の声を条文に

劇場の創造、運営に実際に携わっている二人と、創造の現場をよく知る法律の専門家。この三人のユニークなパネラーによる「劇場法」条文の試案づくり。会場の参加者も一体となっての熱い議論を繰り広げる。

講師

衛 紀生 可児市文化創造センター館長兼劇場総監督  
高萩 宏 東京芸術劇場副館長  
福井健策 弁護士/ニューヨーク州弁護士/日本大学藝術学部客員教授

コーディネーター

清水裕之 名古屋大学大学院環境学研究科教授

Session-3：優れた劇場建築の果たす役割と空間表現

2月12日(土)10:00～15:45 12F アートスペースG

地方都市に建てられた劇場の設計者が語る

地域の文化・芸術の発信の場としての劇場の計画に際して、設計に携わった建築家が様々な課題や問題をいかに克服したかなど、そのプロセスを踏まえて語る。

また、竣工後の劇場の空間表現の場を地元の人たちがどのように利用し、活動しているかを合わせて報告する。

●いわき芸術文化交流館「アリオス」(福島県) 2009.5 グランドオープン

設 計:清水建設/佐藤尚巳建築研究所/永田音響設計/シターワークショップ設計企業体

●三田市総合文化センター「郷の音ホール」(兵庫県) 2007.7 オープン

設 計:(株)日本設計

●日田市民文化会館「パトリア日田」(大分県) 2007.12 オープン

設 計:香山壽夫建築研究所

講師

佐藤尚巳 (株)佐藤尚巳建築研究所代表取締役  
辰巳清一 (株)日本設計関西支社建築設計部主管  
長谷川祥久 香山壽夫建築研究所設計主任

コーディネーター

草加叔也 空間創造研究所代表

Session-4：市民吹奏楽団と文化施設

2月12日(土)10:00～15:45

12F アートスペースH

市民文化活動を中心とした地域文化施設の方向性を探る

多くの公共ホールの方向性として、市民の文化活動を中心に施設の活性化や地域振興を図っていくことが考えられる。例えば、市民楽団には市民への演奏活動による地域貢献が期待されている。一方、市民楽団の多くは、日常練習活動をしている施設に大型楽器の保管場所や定期利用を望んでいるが、公平性などの理由で実現できないことも多い。そこで、まちづくりなどの視点も含め市民楽団の公共性の対価として公共施設における利便供与の可能性を、市民楽団側から施設・行政側からの両面の事例から検討し、市民に理解される仕組みについて考え、市民文化活動を中心とした地域の文化施設のあり方を探る。

コメンテーター

竹本義明 名古屋芸術大学学長／武豊町民会館館長

事例報告者

西浦 稔 蒲郡市吹奏楽団初代団長  
斎藤和憲 蟹江吹奏楽団音楽監督/かにえジュニアバンド代表  
佐藤ともみ マザーズバンドランラン団長  
加藤幸太郎 浜松市生活文化部文化政策課指導主事  
鈴木 学 財豊田市文化振興財団文化部文化事業課課長

コーディネーター

川本直義 (株)エルイー創造研究所取締役主任研究員

特別講演「指定管理者制度のこれから」 2月12日(土)16:00～17:00

12F アートスペースA

事前の選定、事後の評価…その基準の明確化と透明性を担保せよ

2期目、3期目に入っている指定管理者制度。課題は事前の選定、事後の評価基準の曖昧さにあると草加叔也氏は指摘する。このままでの指定管理者制度の運営では、地方の文化施設は完全に駄目になると警鐘を鳴らす。

講師

草加叔也 空間創造研究所代表

総括セッション・閉会式 2月12日(土)17:10～18:00

12F アートスペースA